

8.7.31

滿洲建築協會雜誌

第十三卷
第五號

5

滿洲建築協會

社團法人滿洲建築協會發行

ホロータイル

フェイスブリック

礦滓カッタ

舗道煉瓦

スクラッチタイル

カッタタイル

機械製煉瓦

普通煉瓦

專賣特許 鐵筋煉瓦

營口煉瓦製造所

大連工場

大連市管内西山會三春柳一
電話九〇九七番

周水工場

大連市管内周水屯周家屯

大連出張所

大連市越後町二八
電話三九〇五番

馬車配給所

大連市財神街三
電話七七五八番

目次

卷頭圖版

熱河の古建築

挿入圖版

伊太利フロレンス、ヂオバンニ・ベルタ新競技場

獨逸の教會

文版

- 熱河の建築……………三 室 山 人…(1)
- 梯形荷重を受くる梁の支持反力及び曲能率計算表……鷲 尾 健 三…(7)
- 家庭用温水煖房罐の選定に就て……………川 井 廣 胖…(9)
- 羅 津 便 り……………利 代 子…(13)
- 昭和八年度全滿建築工事概況……………田 中 國 益…(17)
- 對震建築問答の紹介……………赤 石 又 一 郎…(20)

會報

- 編輯記……………石 田
- 表 紙……………草 野

□熱河！それは一箇の祕境として一般には只地圖上の認識を越え難い謎の存在であつただけに、熱河紹介に關するものと云へば悉くが吾等の興味をそゝるに充分である。況して其處に現存する建築の實況を知り、やがて其の遠き過去に迄遡つて熱河建築の神祕を窺ふすがともなるべき類の寄稿は、其の時以來當編輯に於ける深い願望であつたが、今回三室山人によりその一部が紹介せられたのは欣幸の至りである。

□羅津！それは吾等の興味と關心とを集むる上に於て熱河同様であらう。本號に掲ぐるところの「羅津便り」は多年新線の建築主班として殊功を積まれたる利代子氏が這回再び社命により羅津の建築計畫を掌理せらるゝ事となり、去月上旬彼の地に趣かれたのである。本稿は即ち同氏が彼の地よりの公の通信の第一であるが、着羅匂々の音信としては實に行届いたものといはねばならぬ。

□家庭用温水罐の選定は凡そ住宅を營まうとするものゝ一様に悩むところであつて、之を簡明に指導することは本誌のとるべき使命であると考へられてゐたが、今回幸川井さんの様な權威者の御稿を得たのは感謝に堪えざるところである。

□鷺尾さんの「梯形荷重を受くる支持反力及び曲能率計算表」は其の實用價值に於て貴重にして便利なる點に於て其の方面に知見を有せらるゝ人々の首肯せらるゝところであらう。

□四月特輯撫順號が崇つて本號の著しき遅延を見たるは何とも相濟まぬ次第切に御寛恕を乞ふ。

□工界繁忙期に入り各位の御健闘を祈る。



熱河避暑山莊・麗正門



熱河大佛寺・本堂